

湯野上温泉

この絵のように美しい温泉村は、大川沿いの溪谷にあり、江戸時代（1603～ 1867 年）から人々はリラックスしてその温泉に浸かっています。お湯は 7 つの異なる泉から来ており、旅館や地域の民家は水源から直接水を汲み上げています。

多くの施設の入浴施設は日帰りで利用できますが、旅館のもてなしを存分に味わうには一泊するのが一番です。訪問者は 30 以上の宿泊施設を選択できるため、この村はこの地域を観光するのに理想的な拠点となっています。

共同体意識

湯野上温泉駅は、伝統的な茅葺き屋根で、交通の要衝であり、公民館でもあります。本や雑誌、観光パンフレットなどを閲覧できる快適な空間と、囲炉裏（囲炉裏）があります。寒い時期には、石で裏打ちされた囲炉裏で燃える火の暖かさの周りに、住民も観光客も集まります。

湯野上温泉駅は、伝統的な茅葺き屋根の日本で 2 つしかない駅の 1 つとして有名です。駅舎は独特の雰囲気があり、交通の要衝であり、コミュニティの中心でもあります。本や雑誌、観光パンフレットなど、ゆったりとくつろげる空間と、囲炉裏（いろり）があります。寒い季節には、石で裏打ちされた四角い囲炉裏が点灯し、入居者も来場者も同じように暖かく迎えてくれます。駅では新鮮な野菜をはじめ、さまざまなお土産や食料品を販売しています。午前中は、地元の旅館の経営者がゲストの夕食用の食材を購入するために立ち寄るのを目にする可能性があります。駅の隣には天然温泉水がたっぷり入った足湯があります。どなたでも無料でご利用いただけます。駅構内で足を乾かすための小さなタオルを購入できます。駅周辺は春の桜鑑賞に人気のスポットです。

注：一部の温泉は入れ墨のあるゲストを受け入れない場合がありますので、訪問者は事前に確認することをお勧めします。場合によっては、小さな入れ墨が入場前にパッチで覆われていたり、プライベートバスを予約できる場合があります。